長与スポーツクラブ会報誌

第 133 号
2019/11/19

発行：ＮＰＯ法人
長与スポーツクラブ

「部活動との融合」～九州ブロッククラブネットワークアクションより～

11 月９日、10 日宮崎市で、九州の総合型クラブ関係者が集まり、会議や研修を行う「九州ブロッククラブネットワークアクション 2019 in みやざき」が開催されました。

２日間開催された中で、第１日目は、部活動と総合型クラブとの連携・融合について、講演とパネルディスカッションがありました。

講演は新潟県の総合型クラブ「NPO 法人希楽々（きらら）」　理事長 渡邊　優子　氏を講師として、『これからの総合型が地域で必要とされるためには』～学校と地域との融合～という演題で講演がなされました。講師の渡辺氏は、国の運動部の在り方に関する総合的なガイドライン作成検討会議委員でもあります。

講演概要について掲載いたします。

このクラブは新潟県村上市にあります。部活動との連携のはじまりは、渡邊さん方が中学校部活動に対して、次のような考えをもったことにあります。

- 部活動の位置付けが不安定であること
- 生徒数減少に伴う設置できる部活動の減少していること
- 既存部活動の中には存続危機のものや廃部になるものもあること
- 小規模の学校は希望の種目が選択できないこと
- スポーツを選択する生徒数が減少してきたこと
- 合同チームによる中体連大会への参加に一部制限があること
- 勝利主義の部活動への疑問

そこで、平成 25 年度から、既存部活動にはない バスケットボールをしたい女の子たちがいること、また、その保護者は部活動の新設を懇願していること、さらに学校は諸事情のため新設ができないことを聞き、学校、保護者、希楽々で話合い、３者で合意形成をした上で、部活動に準ずる活動として 「新しいカタチの部活動」として女子バスケットボールクラブの活動を開始しました。初年度は、クラブ管理の下、中学校２校１２名を放課後バスで迎え 、週２日練習を実施しました。クラブ登録の指導者の下、練習参加費１回 400 円、中体連大会にも参加しています。

平成 26・27 年度は、中学校３校１７名の生徒が集まり、週４回（火・水・金・土曜日）練習、指導者はクラブ職員及び外部指導者、参加費１ヶ月 3,000 円、バスケットボール活動以外に クラブイベント等のボランティア参加などを行っています。また、中体連大会には各学校名で参加しています。

特定非営利活動法人総合型ＳＣ長与スポーツクラブ
長与小学校体育館内　ＨＰアドレス　http://www.nagayosc.sakura.ne.jp/NSC
ＴＥＬ／ＦＡＸ　095-865-9511　　メールアドレス nsc@jewel.ocn.ne.jp

事務所開設時間
月・水・金
14:30～16:30

フェアプレイで日本を元気に

あくしゅ　あいさつ　ありがとうをしよう！
（日本スポーツ協会　フェアプレイキャンペーン　より）

QRコード
HP　LINE